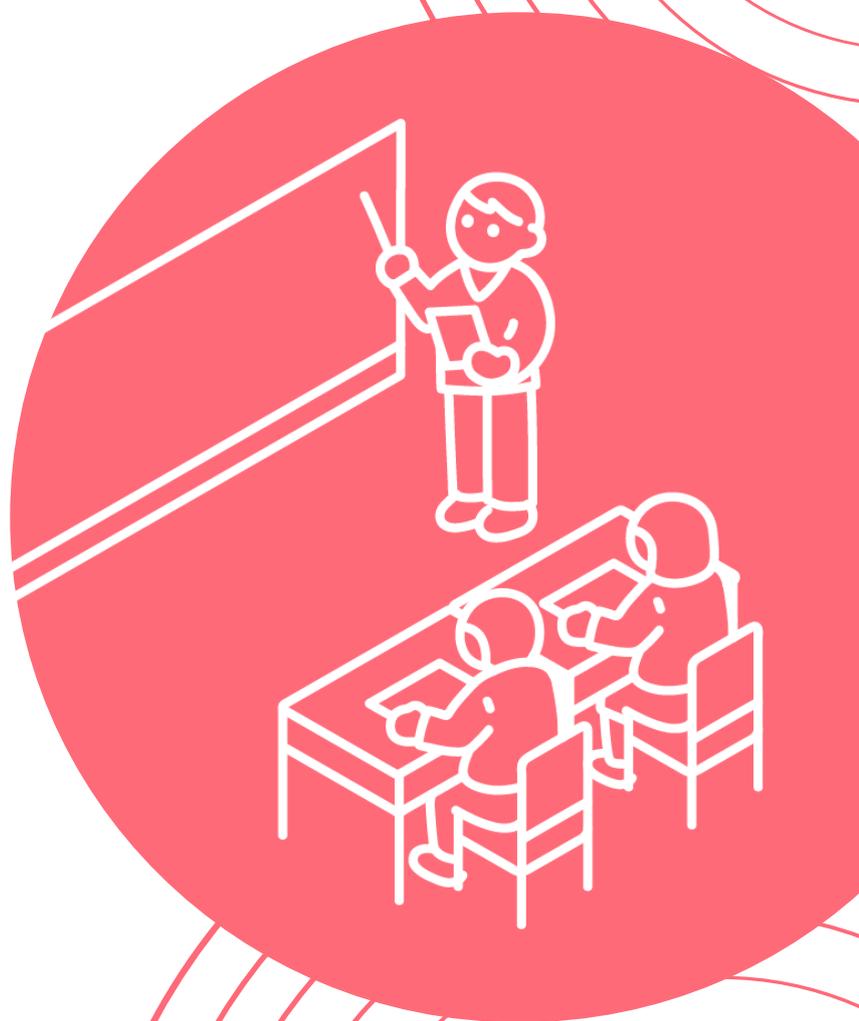


令和4年度

全国学力・学習状況 調査結果の概要



角田市教育委員会

1 調査結果の概要

今年度実施しました『全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせいたします。調査対象は、小学校6年生と中学校3年生です。角田市教育委員会といたしましては、各学校と情報を共有しながら、児童生徒一人一人の学習状況に応じた学習指導の改善・充実に取り組んでいきたいと考えております。今回、お知らせする結果については、市内の小・中学校の学習状況の傾向を示しております。地域や保護者の皆様の深いご理解と温かなご協力の程よろしくをお願いいたします。

(1) 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日 令和4年4月19日（火）

(3) 調査対象	小学校6年生	6校	199人
	中学校3年生	2校	255人

(4) 調査内容

- ① 教科に関する調査 国語，算数・数学，理科
- ② 児童生徒質問紙調査 学習意欲，学習・生活習慣，規範意識，自己有用感等

(5) その他

本調査は、市内小中学校の傾向を示していますが、結果については、様々な学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

(6) 教科に関する調査結果 <宮城県の数値は仙台市を除く調査結果です。>

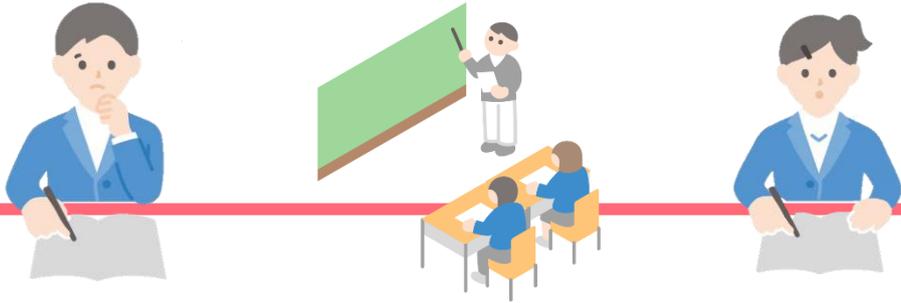
① 小学校における平均正答率比較 [%]

教科	角田市	宮城県	全国
国語	60	62	65.6
算数	58	58	63.2
理科	56	60	63.3

② 中学校における平均正答率比較 [%]

教科	角田市	宮城県	全国
国語	64	68	69.0
数学	40	45	51.4
理科	45	47	49.3

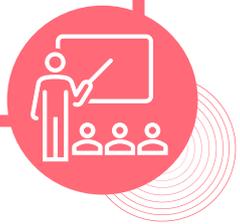
2 教科に関する調査結果の分析と考察



下記は、角田市内の小学校6年生、中学校3年生の全国学力・学習状況調査における『平均正答率（全体と観点別）』と『正答数分布状況のグラフ』です。以上の結果を分析し、考察しております。なお、正答数分布状況のグラフについては、縦軸が人数の割合(%), 横軸が正答数を表しており、市内の児童・生徒の人数の割合は棒グラフで表記してあります。比較のために全国の割合を折れ線グラフ（全国→◆, 県→▲）として示してあります。

『考察』については、平均正答率における全国と宮城県の比較や、グラフを基にした正答者数分布状況、そして、『問題別解答類型』の誤答分析から明らかとなった児童・生徒のつまずきポイント、今後の指導の重点について記載しました。

(※『問題別解答類型』については、膨大な資料のため掲載を割愛しています。)



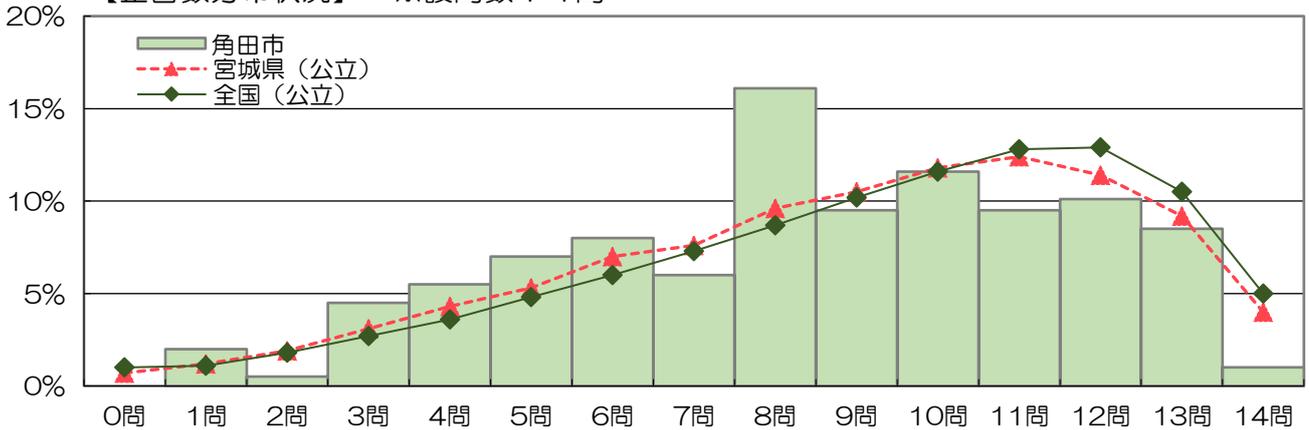
(1) 小学校 国語 〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	60	62	65.6	67.9	69.6	70.5	54.7	59.2	62.0

考察

全体の平均正答率は、全国を5.6ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「思考・判断・表現」が、県と全国の平均正答率を5ポイント以上、下回っています。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、8問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「物語文」の内容を理解する設問についての正答率が、県と全国の平均正答率を10ポイント以上、下回りました。今後、登場人物の行動や気持ちなどについて書かれている文章を基に、考えを順に追って捉えられる力を高める指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数14問



(2) 小学校 算数

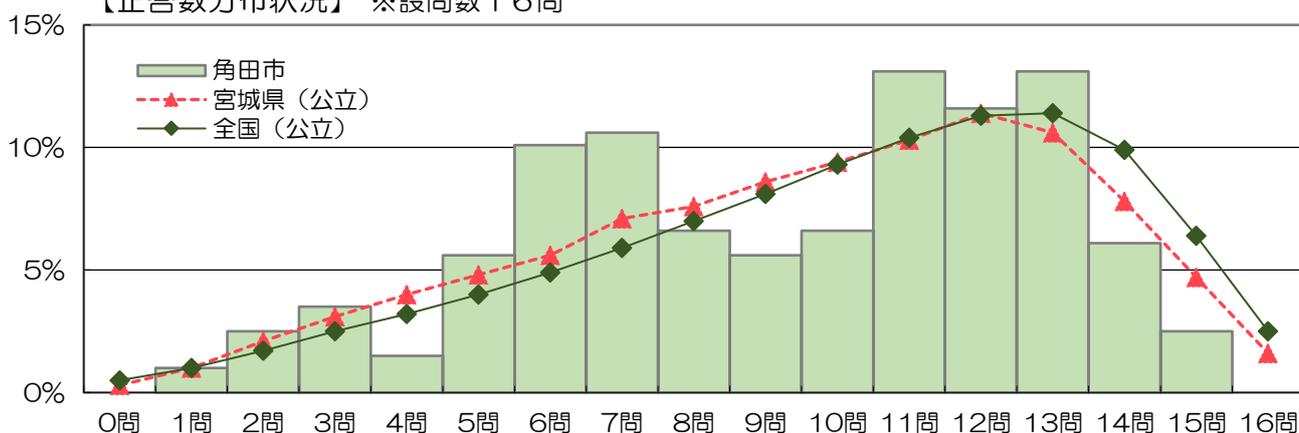
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
算数	58	58	63.2	64.8	65.9	68.2	49.6	52.8	56.7

考察

全体の平均正答率は、全国を5.2ポイント下回りました。観点別の平均正答率では、「知識・技能」が、県と全国の前平均正答率とほぼ同等でしたが、「思考・判断・表現」は、全国を5ポイント以上、下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、11問、12問、13問の正答者数が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「表（ひょう）」の意味を理解したり、円グラフからデータを選んだりするなど、「データの活用」の問題の正答率が低い状況にありました。今後、目的に応じてデータの特徴やデータの全体と部分に分けて考察できるような指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数16問



(3) 小学校 理科

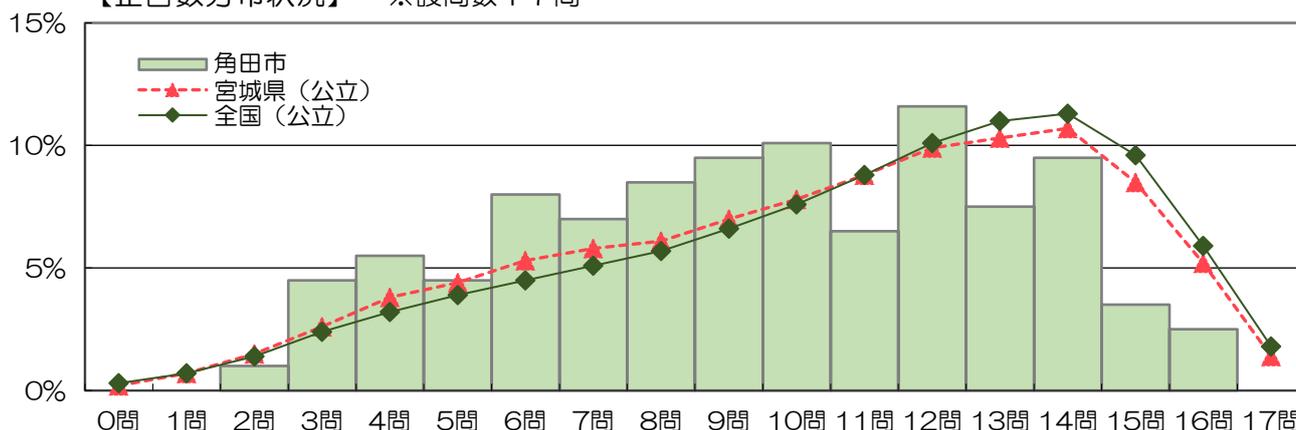
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
理科	56	60	63.3	54.3	61.3	62.5	56.6	61.6	63.7

考察

全体の平均正答率は、全国を7.3ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれも、県と全国の前平均正答率を5ポイント以上、下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、12問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、メスシリンダーという器具の名称や物質の三態（固体、液体、気体）の理解など、「粒子を柱とする領域」の問題の正答率が低い状況にありました。今後、実験器具の名称を確実に理解させ、適切に器具を選択できる力を確実に身に付けられるような指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数17問



(4) 中学校 国語

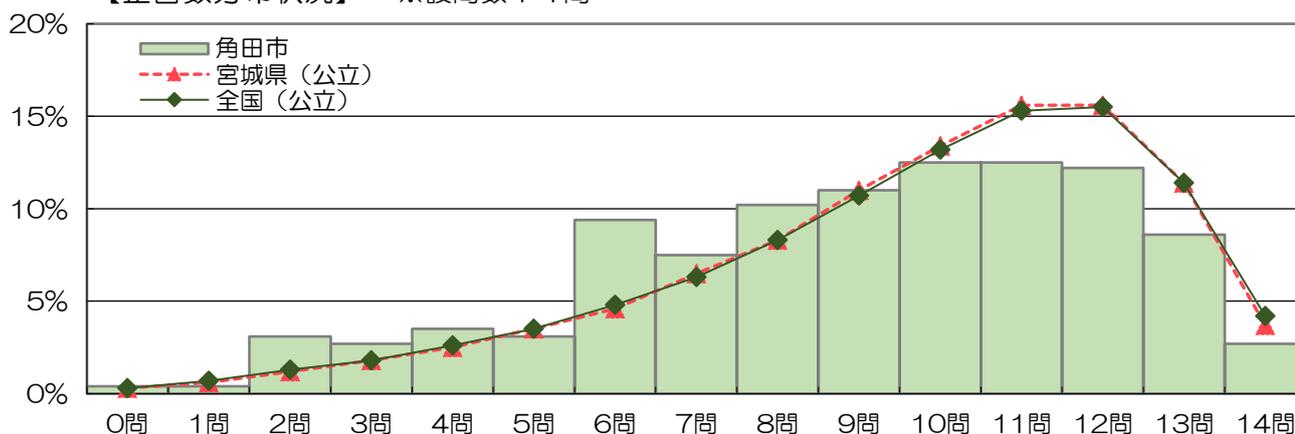
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
国語	64	68	69.0	64.0	69.0	69.0	57.1	62.6	62.3

考察

全体の平均正答率は、全国を 5 ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「思考・判断・表現」が全国と県の平均正答率を 5.5 ポイント下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、10 問、11 問、12 問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「読むこと」の問題において、文学的な文章を読み、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する問題の正答率が低い状況にありました。今後は、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解する力を高める指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数 14 問



(5) 中学校 数学

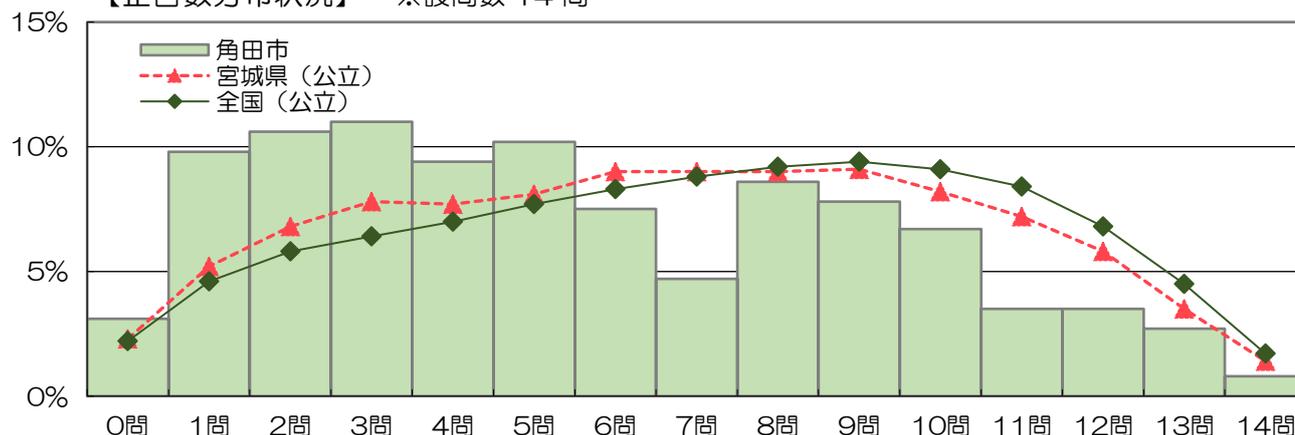
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
数学	40	45	51.4	48.1	56.5	59.9	26.2	34.3	36.2

考察

全体の平均正答率は、全国を 11.4 ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれも、県の平均正答率を 8 ポイント下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、5 問以下の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、自然数を素数の積で表す問題や図形の証明の問題の正答率が低い状況にありました。今後は、数学的な用語や図形の性質の理解の定着を図り、与えられた条件から事柄が成り立つ理由について数学的に説明する力を高める指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数 14 問



(6) 中学校 理科

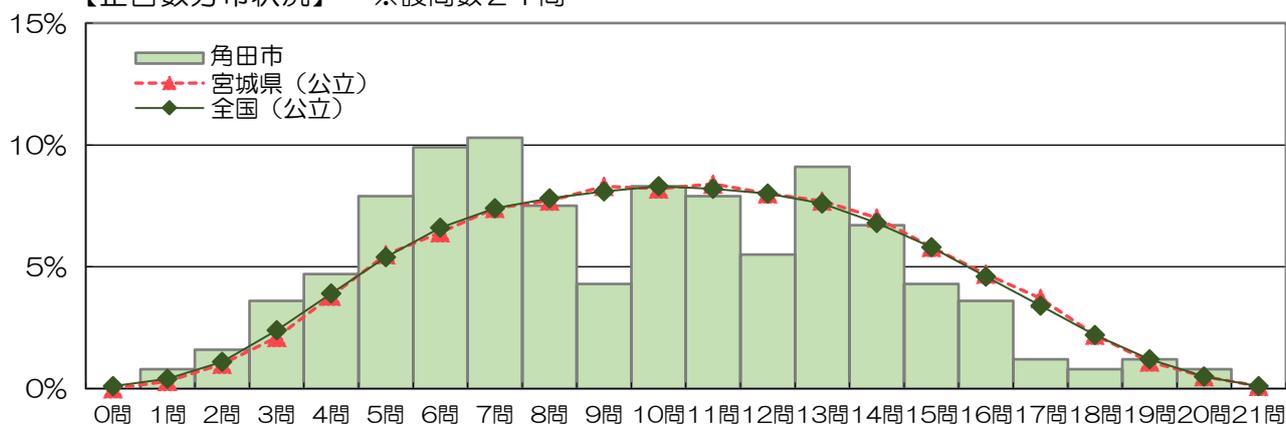
〔%〕

項目 教科	全体			知識・技能			思考・判断・表現		
	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
理科	45	47	49.3	44.8	47.1	46.1	45.2	51.0	51.0

考察

全体の平均正答率は、全国を 4.3 ポイント下回りました。観点別の平均正答率は、「思考・判断・表現」が、県と全国の前平均正答率を 5.8 ポイント下回りました。また、正答数分布状況のグラフ（下記）からは、7問の正答者の割合が多く見られました。さらに、問題別の誤答分析によれば、「エネルギーを柱とする領域」の問題や、各領域の「分析・解釈」する問題の正答率が低い状況にありました。今後、実験や観察の結果と考察をもとに、知識・技能を活用したり、共通点・相違点を見いだしたりするといった探究する力を高めていく指導を行っていきます。

【正答数分布状況】 ※設問数 21 問



3 児童生徒質問紙調査結果の概要

(1) 児童生徒質問紙調査結果の概要 ※枠内の数字は回答した児童・生徒の割合

① 基本的な生活習慣について [%]

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	95.4	95.3	94.4	93.7	93.2	91.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.9	84.0	81.5	81.1	83.2	79.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.5	90.2	90.4	93.3	93.4	92.2
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	71.9	69.5	71.5	68.1	72.6	69.5
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。（ <u>2時間以上</u> ）	<u>57.3</u>	51.5	50.2	<u>57.1</u>	49.0	50.3
6	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）（ <u>2時間以上</u> ）	<u>36.2</u>	31.0	32.5	<u>57.9</u>	48.4	52.0

考察

毎日朝食を食べることや起床・就寝時刻が決まっている児童生徒の割合は、全国平均より高いかほぼ同等の傾向にあり、家庭での生活リズムが整っている様子が分かります。

1日2時間以上ゲームをしている割合は、全国平均と比べ、小学校+7.1ポイント、中学校+6.8ポイントの状況です。動画視聴等についても、小学校+3.7ポイント、中学校+5.9ポイントと、全国よりかなり長い時間を費やしていることが分かります。小学校では、半数以上の児童が、2時間以上ゲームをしている状況、中学校では、半数以上の生徒が、2時間以上ゲームやSNS、動画視聴をしている状況にあることから、その影響について児童生徒が主体的に考え、実践していくといった自己管理能力を高めていく必要があります。

② 志教育、自己肯定感等について [%]

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	自分には、よいところがあると思いますか	68.3	76.5	79.3	64.6	78.2	78.5
2	<u>将来の夢や目標を持っていますか</u>	<u>85.9</u>	79.1	79.8	66.5	68.7	67.3
3	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	86.5	87.2	87.2	84.3	88.4	86.6
4	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	69.8	72.2	72.5	64.9	68.1	67.1
5	人が困っているときは、進んで助けていますか	85.4	86.5	88.9	86.6	88.4	88.4
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.0	96.5	96.8	95.7	96.5	96.4
7	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.0	93.8	95.1	91.7	94.9	95.0

考察

この項目については、全国平均と比べると、ほぼ全ての項目で低い値を示しています。ただ、特筆すべきは、小学校の「将来の夢や目標がある」と回答した児童が、全国平均より+6.1ポイントと大きく上回っているところ、中学校においても、-0.8ポイントと全国平均とほぼ同等であるところと見えます。各学校での志教育の成果であると思います。

今後は、特別活動や総合的な学習の時間等様々な活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高め、難しいことにもチャレンジする児童生徒を育成していく必要があります。

③ 家庭での学習について

〔%〕

	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） <u>（小学校1時間以上、中学校2時間以上）</u>	<u>59.3</u>	58.4	59.4	<u>20.0</u>	31.0	35.2
7	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（30分以上）	31.6	35.0	36.4	24.9	27.9	27.3

考察

小学校では、1時間以上勉強している児童が、全国平均同等とよい傾向にありますが、中学校では、-15.2ポイントと平日2時間以上勉強している生徒は、20%の状況です。部活動等で帰宅する時刻が遅いことも影響しているとは思いますが、スマホ等の利用時間とも関係していると考えられます。家庭学習が、学習の定着につながる等を理解させることに加え、一人一人の力に合わせた課題の提示等にも、取り組んでいく必要があります。

④ 学校での学習について

〔%〕

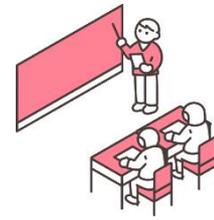
	質問項目	小学校			中学校		
		角田市	宮城県	全国	角田市	宮城県	全国
1	学校に行くのは楽しいと思いますか	<u>88.0</u>	85.9	85.4	<u>80.7</u>	83.0	82.9
2	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	68.8	71.4	73.5	64.5	76.9	76.9
3	友達と協力するのは楽しいと思いますか	94.4	93.2	94.0	91.3	93.5	93.7
4	国語の授業の内容はよく分かりますか	<u>88.0</u>	84.2	84.0	<u>86.6</u>	83.9	81.2
5	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	81.9	79.4	81.2	61.4	73.4	76.2
6	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	73.9	79.5	80.4	69.3	75.6	75.2
7	理科の授業の内容はよく分かりますか	<u>92.0</u>	88.7	88.5	<u>84.3</u>	78.4	75.2
8	PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（週1回以上）	78.4	83.6	83.2	94.5	82.6	80.6
9	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	96.0	94.9	94.4	92.9	94.3	92.6

考察

小学校で「学校が楽しい」と回答している児童は、全国平均より+2.6ポイント、中学校においても、全国平均との差は小さい状況で、よい傾向にあります。特に、小学校では、国語・算数・理科、中学校では、国語・理科において「授業内容がよく分かる」と回答している児童生徒が、全国平均より高く、一人一人にとっての分かる授業を目指し取り組んできた成果であると思っています。数学は、小学校とのつながりや学年間の積み上げを大切に、生徒一人一人ができた・分かったかを実感できる授業を目指します。

今後も、角田市学力向上ゆめプランで示している教育の基本理念「学びって楽しいが見える学校を目指し努力していきます。

4 角田市教育委員会の取組



角田市学力向上推進委員会を組織し、小・中が連携して取り組む児童生徒の資質・能力育成の方策を検討・実践・改善します。

- (1) 学校と教育委員会の担当で組織する「角田市学力向上推進委員会」で、児童・生徒の実態等についての情報交換を行い、具体的な学力向上に向けた方策を検討します。また、中学校区ごとの9年間を見通した取組について協議し、小・中の連携を図ります。
- (2) 宮城県教育委員会指定事業「学力向上マネジメント支援事業」「共に学ぶ教育推進モデル事業」を受け、それに伴う研修会や研究授業を実施します。

角田市独自の学力テストを実施します。

小・中学生を対象とした、国語、算数・数学の標準学力調査を年2回実施し、本市児童生徒の学力・生活習慣等の現状と課題を明らかにした上で、対策（授業改善）を講じます。

大学等と連携し、校内研修の講師を派遣するなどの支援を行います。

宮城教育大学（平成24年2月連携協力に関する覚書を締結）をはじめとする教育機関・民間企業などから専門家を招へいし、専門的かつ先進的な指導を受けながら実践的な研究授業を行い、授業改善や指導力の向上を図ります。

GIGA スクール構想を生かして子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育・ICT 環境を実現します。

- (1) ICT や先端技術の効果的な活用を図り、学習指導要領の着実な実施、個別最適な学びや支援を推進し、学びの質を向上します。
- (2) 児童・生徒一人ひとりに、タブレット端末（Chromebook）を配布し、授業だけでなく、家庭学習等に活用できるようにします。

学校図書館支援員・特別支援教育支援員を配置し、学校及び児童生徒をサポートします。

- (1) 学校図書館支援員の配置（令和4年度は2名）により、学校図書館利用の促進や学校図書館の整備に努め、読書に親しむ環境を整えます。
- (2) 児童・生徒一人ひとりのニーズに合った教育活動の支援のために、各学校に特別支援教育支援員を配置（令和4年度は29名）し、個に応じた指導の充実に努めます。

積極的に情報を公表し、学校・家庭・地域の連携を図ります。

生活習慣や学習習慣等の課題について、学校・家庭・地域が情報を共有し、連携しながら改善に向かうことができるように、必要な情報を積極的に公表します。

適応指導教室を設置し、様々な「学び」の形を支援します。

平成30年6月より、適応指導教室（名称：Cocoはうすかくだ）を開設し、子供のニーズに合ったサポートを行い、児童・生徒の学びを支援しています。

